

若手研究者コラムリレー

加藤 えみか（かとう えみか）

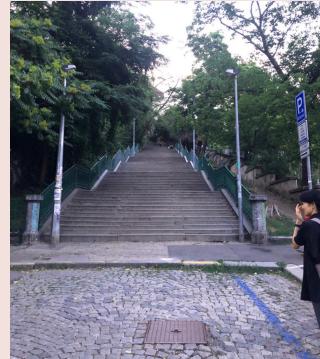


プロフィール

京都産業大学現代社会学部スポーツ健康社会学科 専任講師
日本体育学会の専門領域: バイオメカニクス

大分県生まれ
2009年 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修了 博士(スポーツ科学)
Université libre de Bruxelles(日本学術振興会 特別研究員)
国立障害者リハビリテーションセンター、
国立スポーツ科学センターを経て、2017年4月より現職

E-mail: ekato@cc.kyoto-su.ac.jp



185段のダッシュ前にて

わたしの研究

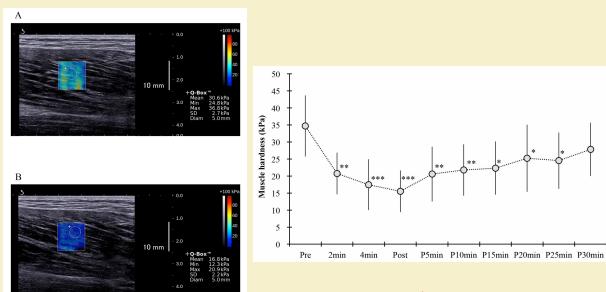


筋コンディションを定量し、パフォーマンスの向上を目指す！

人間の身体運動のパフォーマンスには様々な要素が影響を及ぼしますが、その中でも「筋組織(筋肉)」に関する研究を進めています。

これまでに、運動後の疲労回復サポートの一環として、コンプレッションタイツが筋コンディションに与える影響に関する研究を行なっています。コンプレッションタイツを使用することにより、筋力発揮などや調整力などのパフォーマンスや関節の柔軟性、筋組織の柔軟性に対して、好ましい影響を及ぼすことをこれまでに明らかにしています(Kato et al. 2018、下図参照)。

また、学生競技選手を対象として競技種目別に体組成(体脂肪率、骨格筋量(全身、体幹、両腕、両脚))と身体各部位の筋厚や筋形状、各種の体力要素を測定し、それらとパフォーマンスに関する検討を行なっています。これにより、競技種目別に最適な体組成の提案を目指しています。



わたしの渾身の論文・書籍・記事



Kato E., Nakamura M., Takahashi H. The effect of compression garments on controlled force output following heel-rise exercise. Journal of Strength and Conditioning Research, 32, 1174–1179, 2018

(なんでも帳)



7月3日から6日までチェコ共和国の首都プラハで開催された24th European College of Sport Scienceに行ってきました(右下写真: プラハの街並)。日本体育学会の学会大会と同様に様々な分野・領域の発表が活発に行われており、日本から参加されている方にも多く出会いました。発表方法として興味深かったのがポスター発表でした(左下写真: 発表の様子)。様々な学会大会で共通かと思われますが、複数のセッションが同時進行となるので、通常であれば「発表者は声を張り」、「聴衆は耳を全力で耳を傾ける」という様子が見られます。今回はヘッドフォンとマイクを使用した発表で、各セッションに割り振られたチャンネルを合わせることで、前述のような苦労もなく、非常に聴きやすいものとなりました。実験装置も日々進化していることを感じますが、学会大会のデバイスもそれに沿った進化が必要なのかも知れないとも感じた大会となりました。



○次回のコラムリレーは測定評価の「辻大士」さんを予定しています。

日本体育学会若手の会からのお知らせ



2018年8月に日本体育学会若手の会が発足しました！

→メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPa5fY3kcB5a2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taiikugakkaiwakate@gmail.com (担当: 木村、田中)